

2023年度 日本工学院専門学校											
演劇スタッフ科											
音楽ゼミ1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	山田 素子			実務経験	有	職種	制作				
担当教員紹介											
音楽大学を卒業。 テレビの会社で放送作家・構成作家として活躍し、様々な番組制作に携わった。 今までの経歴と芸術分野に特化した幅広い知識を活かし、授業を行っている。											
授業概要											
舞台や演劇スタッフとして必要である音楽の基礎知識を学び、楽譜の読み方が出来るようになる。この科目を通じて舞台の裏方として音楽を身につける事でより現場で即戦力となる事を意識する。楽譜が読める事で更に演者や周囲のスタッフとの意思疎通が取れるようになり、より社会的活動に幅が広がる事を理解する。また、音を楽しむ/親しむ感覚を育み、グループワークをする事でコミュニケーション能力を高め、人間的資質の向上を図るのがねらいである。											
到達目標											
この科目では、学生がクラシック音楽やポピュラー音楽の楽譜が読めるようになることを目標としている。舞台のスタッフとして楽譜が読める事でより即戦力となる事を意識していく。また、音楽に対し苦手意識のある学生には、基礎的な知識を習得するプログラムを組み立て、最終的には音を楽しむ/親しむ事が出来るような授業展開をしていく。例えば後期授業のSTOMP発表など。音楽演奏などを通じ、コミュニケーション能力を身につけ、社会にでてから活動するために必要な能力を理解する事を目標としている。											
授業方法											
この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。音楽の基礎知識を理解し、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら授業を進める。また、STOMP発表など、チームに分かれて練習～発表を行う事で表現力やコミュニケーション能力も身につける。											
成績評価方法											
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する									
グループワーク	30%	授業を主体的に授業に取り組んでいるのかを評価する									
成果発表（口頭・実技）	10%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
この授業では、学生と教員のコミュニケーションは当然の事、音楽が得意な学生と苦手意識のある学生とで課題に取り組み（グループワーク）学生間のコミュニケーション能力も重視する。但し、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応し音楽に真摯に向き合う事を求める。単に授業に出席するだけでなく、主体的に学ぶ姿勢や周囲との連携も求めていく。（詳しくは、最初の授業で説明）授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。また練習問題なども必要であれば配布する。											
回数	授業計画										
第1回	講義の目的/五線譜について										
第2回	基礎的な音符										
第3回	音の長さについて										
第4回	音の高さについて										
第5回	小節と拍子記号について										

2023年度 日本工学院専門学校	
演劇スタッフ科	
音楽ゼミ1	
第6回	付点音符と休符について
第7回	タイやリピート記号について
第8回	リピート記号とリズム
第9回	臨時記号、装飾記号について
第10回	記号に注意して楽譜を読む
第11回	音程とボディパーカッション
第12回	基礎音程について
第13回	リズムを感じる
第14回	発表
第15回	まとめ